|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **会場名** | | **サブリーダー**  **役職　　　　　　　　　氏名** | |
| 国際会議場 | 12階　1202 | 財団委員会次年度委員長 | 新堂博 |
|  |  | ポリオプラス小委員会委員長 | 川上克己 |
| **リーダー　役職・氏名** | | 資金推進小委員会次年度委員長 | 川上哲司 |
| 立野純三 | パストガバナー | 資金管理小委員会次年度委員長 | 西垣浩 |
|  |  | 奨学金小委員会次年度委員長 | 渡邊徹 |
| **議事録作成者** | 新堂博 | | |

|  |
| --- |
| 開会：（　１５　　時　　３０　　分） |
| 発表者：立野　純三 |
| 【記録内容】  冒頭の挨拶  日本ロータリー財団の現況について  奉仕活動を通じてクラブの活性化、寄付という形での奉仕事業に参加などの事例を上げ  クラブを上げて会員各位が奉仕事業に取り組む。 |
| 発表者：新堂博　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１５　時　４０分） |
| 【記録内容】  **「ロータリー財団と補助金について」**  ロータリー財団の5つの小委員会　ポリオプラス、資金推進、資金管理、補助金、奨学金各小委員会の活動内容について説明。  ポリオが根絶されたエピソード紹介（日本、フイリッピン、中国の事例により）  ロータリー財団委員会の活動方針と「定義」と「使命」  RID2660ロータリー財団補助金「重点施策」  RID2660中期3ヶ年目標と年次目標  ロータリー財団補助金の原資（シェアシステム）  ロータリー財団「補助金の種類」  地区補助金利用「スケジュール」  RACローターアアクトクラブのための財団補助金（要件緩和への理解、DEIによる公平の  定義による。）  RID2660地区財団委員会「活動と役割」  これら項目について解説。 |
| 発表者：川上克己　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　０５分） |
| 【内容】  **ロータリーとポリオ**  ロータリーの最優先項目はポリオの根絶  ポリオとは何か。ポリオ根絶のための基礎知識  ポリオを根絶する理由  ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなる。  予防法がある以上根絶は可能！そのためには多くの資金が必要、非常在国（根絶された地域）においても再発症を防ぐため大規模な予防接種・監視（サーベイランス）の継続が必要で、そのための従事者（ポリオワーカー）、交通手段、研修、経口ワクチン・不活化ワクチンの必要性が求められる。  ポリオ根絶の為にやるべき事は、認識の向上　情報を発信　イベントを実施　政府への働きかけ。  ポリオプラス寄付に一人当たり＄５０以上の寄付への理解頂き、ポリオプラス寄付クラブをゼログラブをゼロに。 |
| 発表者：川上　哲司　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　１７　分） |
| 【内容】  **財団寄付と認証について**  ・財団寄付の地区目標  年次基金寄付 → 会員１人当たり 年間 １５０ドル 以上。  ３年間運用された後、使用される。  前年度の寄付実績が地区補助金の配分率に反映される。  年次基金寄付は一人当たり150ドルを達成クラブには基本補助金を100％支出。  150ドル未達成のクラブには寄付金額に応じて補助金額を10%～20%を減額。  ・財団寄付の認証  ポールハリスフェロー、ベネフアクター、メジャードナー  ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）は、年次基金／ポリオプラスへ、一括もしくは合計で、  毎年 1,000 ドル以上のご支援を誓約下さる個人の認証制度の紹介。  ・財団寄付の方法と優遇措置  ・ロータリー・クレジットカード |
| 発表者：西垣浩　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　２９　分） |
| 【内容】  **財団補助金の管理について**  財団補助金は、皆様から頂いた寄付金（年次基金寄付・恒久基金寄付）を原資とした、  会員各位からの「浄財」といえるがゆえに、一定の「ルール」に基づき行う必要性ある。  「授与と受諾の条件」と「財団補助金申請ハンドブック」の熟読  地区補助金の活用における必要最低限のルール14項目について解説。  ロータリー会員による直接調達であること、継続的支援の禁止、報告書の提出など。  中間団体経由によるロス防止、特定の受益者に偏らないこと、惰性化・既得化の防止  透明性を高めチェック可能となるように。 |
| 発表者：渡辺徹　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　１６　時　４２　分） |
| 【内容】  **財団奨学金について**  ロータリー財団の奨学金プログラムはグローバル奨学生と平和フェローがある。  ・グローバル奨学金奨学生　奨学生候補者の選考方法を説明  応募資格（①応募資格は当地区内に在住･在学･在職または本籍(日本国籍か永住権)があること、②学士号を保有していること、③海外大学院への留学が目的で7重点分野のいずれかに該当する文約を専攻すること）他、要件を解説。  ・平和フェローシップ  平和の構築に向けた平和活動家のための奨学金プログラム。（世界8大学に大学で履修）  これまで全世界で1400人の実績あり当地区からは2名を過去に排出している。  併せて、奨学生候補者の選考方法及び選考条件を説明し、問い合わせがあった場合、奨学金小委  員会まで連絡する旨のお願い。  国際機関で活動する、過去のグローバル補助金奨学生、及び平和フェローの近況報告  ２０２４-２５年度グローバル奨学生候補者（２５-２６年度派遣）のスポンサークラブとして  自クラブで検討される事を要請。 |
| 閉会（１６時　５５分） |